

# 第10回 木曾三川下流域自然再生検討会

## 自然再生必要区間の選定の考え方

平成31年1月11日

国土交通省 木曾川下流河川事務所

# 自然再生箇所決定の流れについて

## 自然再生箇所決定のフロー

### STEP1 水際環境を8区分に分類

「実践的な河川環境の評価・改善の手引き」に基づいた現況の河川環境の評価結果も確認。

### STEP2 自然再生必要区間の選定

### STEP3 自然再生実施箇所の決定

自然再生検討会による審議、住民からの意見聴取によって最終的な自然再生実施箇所を決定する。

- ヨシ原、干潟、ワンドについて、過去と現在の航空写真等から水際の分布状況を判読し、その結果から現状の水際環境を8区分に分類。

過去	現況	区分	再生等の基本的な考え方
干潟、ヨシ原、ワンドが存在していた	良好な状況にある	①過去から良好な水際環境が存在する区間	保全候補箇所
	消失傾向にある 概ね30%程度の面積の減少がみられる	②過去にあった良好な水際環境が消失傾向にある区間	再生候補箇所 保全候補箇所
	消失した	③過去にあった良好な水際環境が消失した区間	再生候補箇所
自然再生を実施した箇所	良好な状況にある 中長期モニタリング結果から	④再生整備により良好な水際環境が回復した区間	非対象
	不良・課題あり 中長期モニタリング結果から	⑤再生整備を行ったが、課題がある区間	追加の対策実施を検討する箇所
	モニタリング中 中長期モニタリングが未実施	⑥再生後のモニタリングを実施中の区間	中長期モニタリングの結果を以って判断
	施工中	⑦再生整備の実施中の区間	整備を継続
干潟、ヨシ原、ワンドが存在していない	存在しない	⑧良好な水際環境が存在しない区間	非対象 (連続性が確保できる場合は創出を検討)

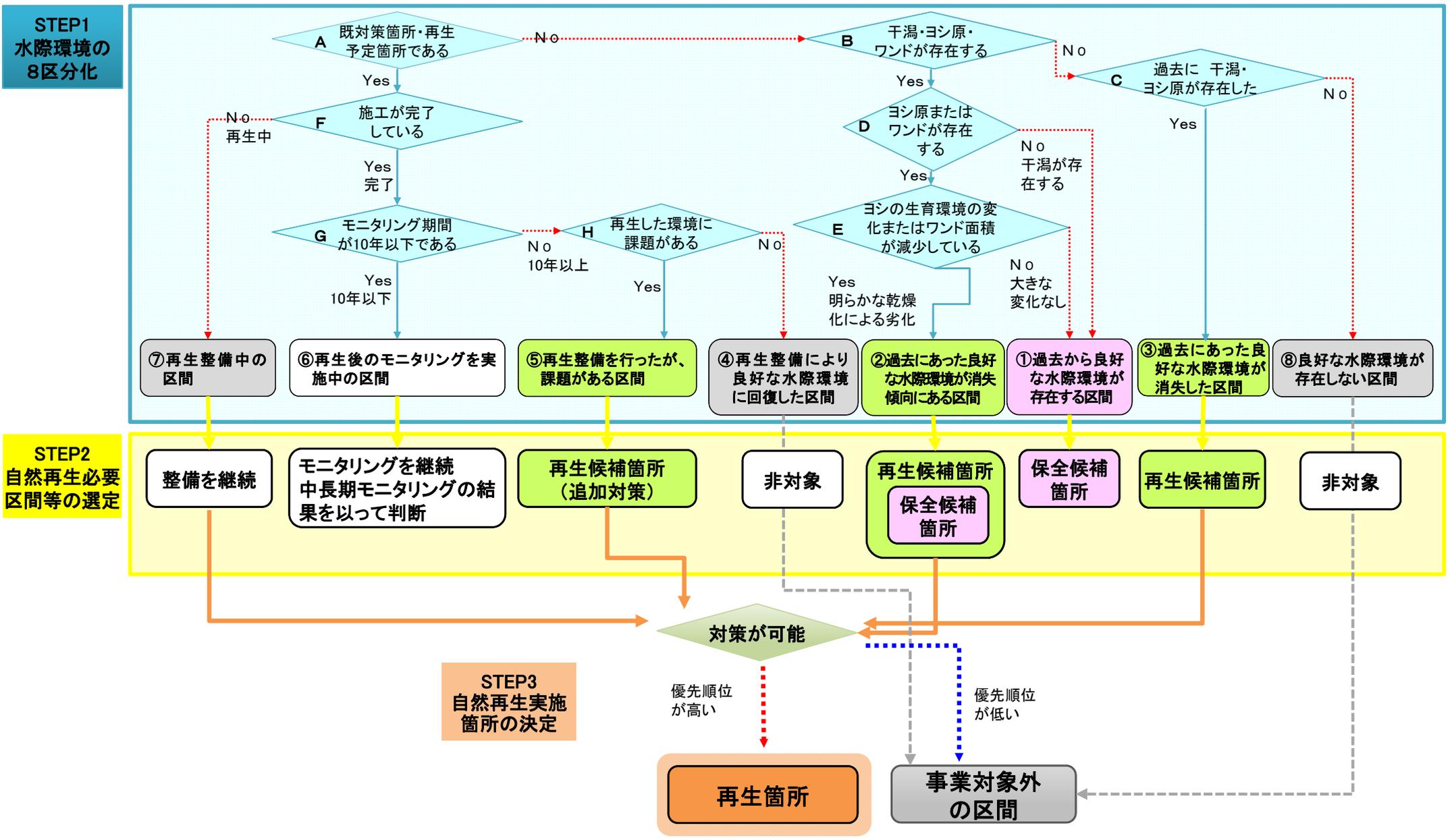
- 自然再生が必要な区間を抽出したうえで優先順位を設定し、今後20年間で再生実施可能な箇所を選定。

#### ◆優先順位として考慮される項目

項目	該当する条件
連続性	自然再生により、良好な水際環境の連続性が確保できる箇所
地域性	地元要望のある箇所、地域との連携が実施しやすい箇所
希少性	重要な種の生息生育が確認されている箇所

# 自然再生必要区間の抽出の考え方について

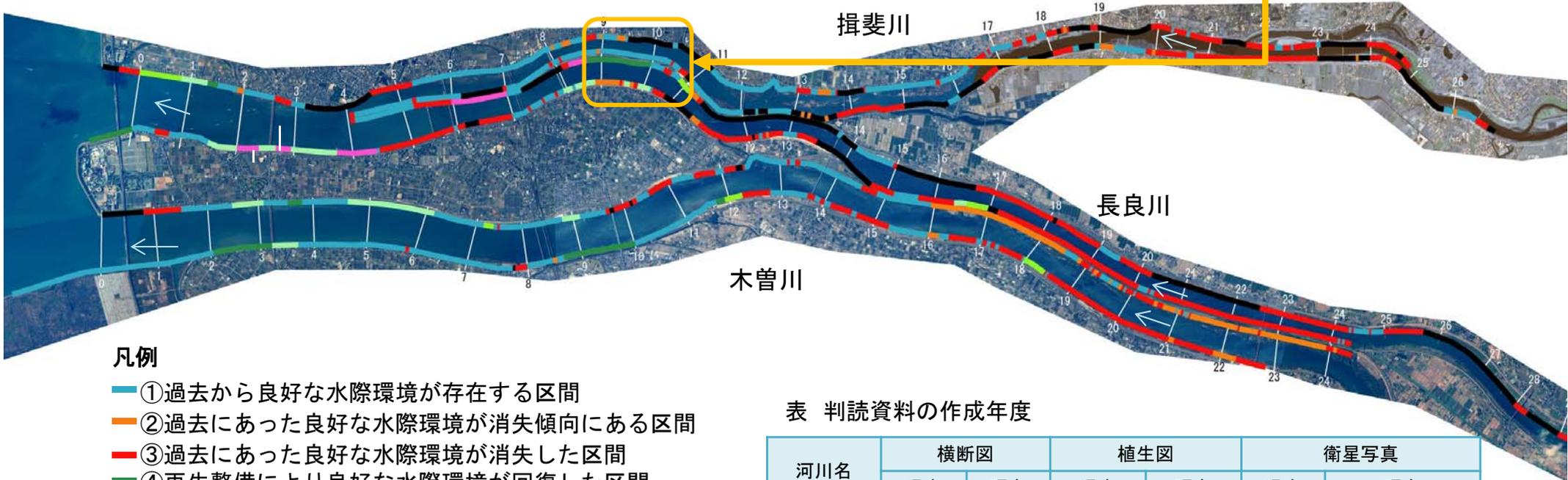
## 自然再生箇所決定の詳細フロー



# 揖斐川における自然再生箇所の抽出イメージ①

## STEP1: 水際環境の8区分結果

- これまでの調査結果や航空写真等から、過去と現在の水際環境を判読することで木曾三川下流域の水際環境を8区分に分類した。
- 自然再生必要区間の選定の例として、揖斐川左岸10.6k～11.2k付近に着目して検討を行った。



### 凡例

- ① 過去から良好な水際環境が存在する区間
- ② 過去にあった良好な水際環境が消失傾向にある区間
- ③ 過去にあった良好な水際環境が消失した区間
- ④ 再生整備により良好な水際環境が回復した区間
- ⑤ 再生整備を行ったが、課題のある区間
- ⑥ 再生後のモニタリングを実施中の区間
- ⑦ 再生整備実施中の区間
- ⑧ 良好な水際環境が存在しない区間

表 判読資料の作成年度

河川名	横断面図		植生図		衛星写真	
	過去	現在	過去	現在	過去	現在
木曾川	S38	H27	S50	H24	S41	H28-29
長良川	S37	H27	S50	H24	S41	H28-29
揖斐川	S39	H27	S50	H24	S41	H26, H28-29

# 揖斐川における自然再生箇所の抽出イメージ②

## STEP1: 水際環境の8区分結果

### 水際8区分の結果

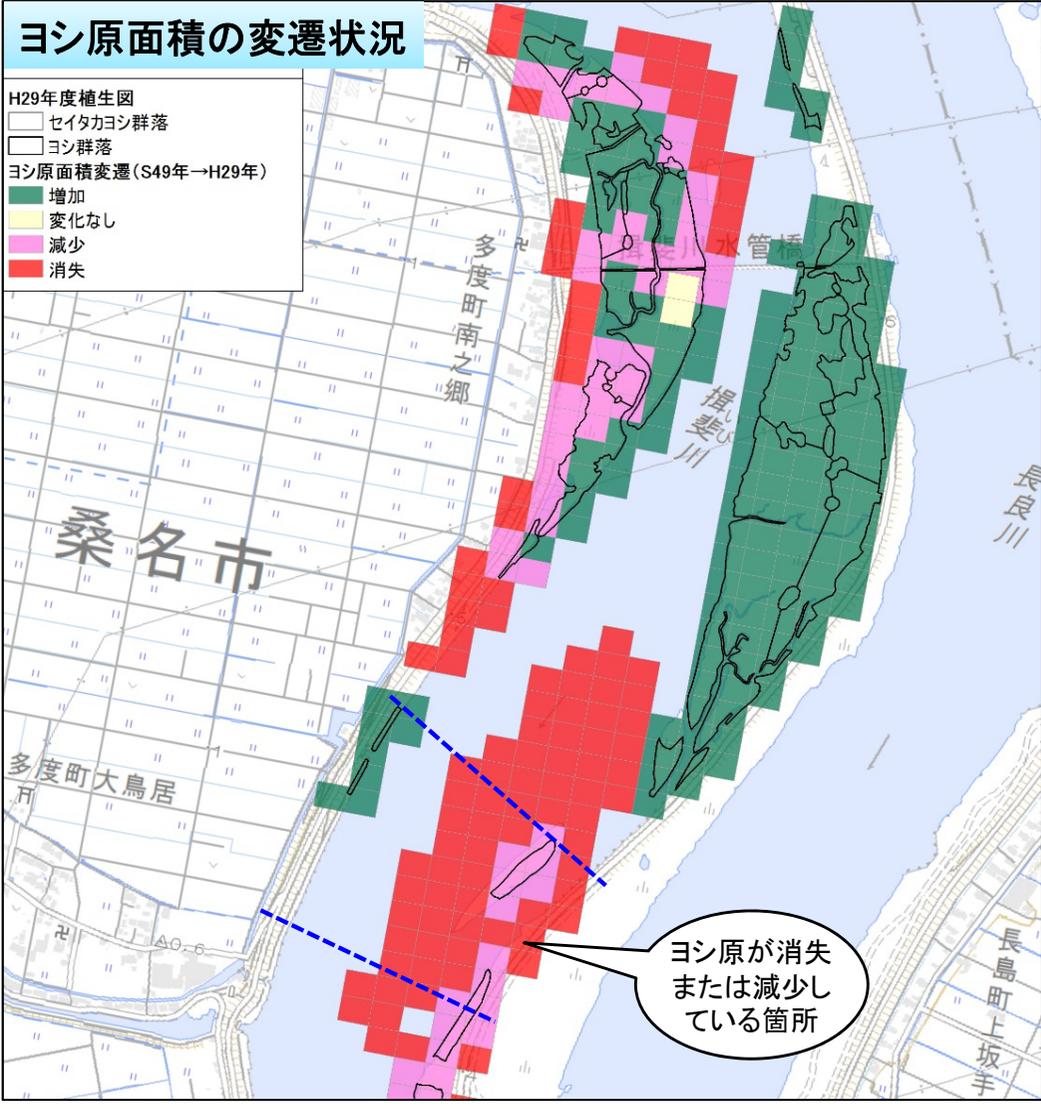
- 凡例
- ① 過去から良好な水際環境が存在する区間
  - ② 過去にあった良好な水際環境が消失した区間
  - ③ 過去にあった良好な水際環境が消失傾向にある区間
  - ④ 再生により良好な水際環境が回復した区間
  - ⑤ 再生したが課題のある区間
  - ⑥ 再生後のモニタリングを実施中の区間
  - ⑦ 再生整備実施中の区間
  - ⑧ 良好な水際環境が存在しない区間



10.6k～11.0k付近は、ヨシ原が消失、または存在しない箇所となっている。ヨシ原の面積変遷からも消失、減少している箇所である。

### ヨシ原面積の変遷状況

- H29年度植生図
- セイタカヨシ群落
  - ヨシ群落
- ヨシ原面積変遷 (S49年→H29年)
- 増加
  - 変化なし
  - 減少
  - 消失



10.6k～11.0k付近を自然再生必要区間として抽出。

# 揖斐川における自然再生箇所の抽出イメージ③

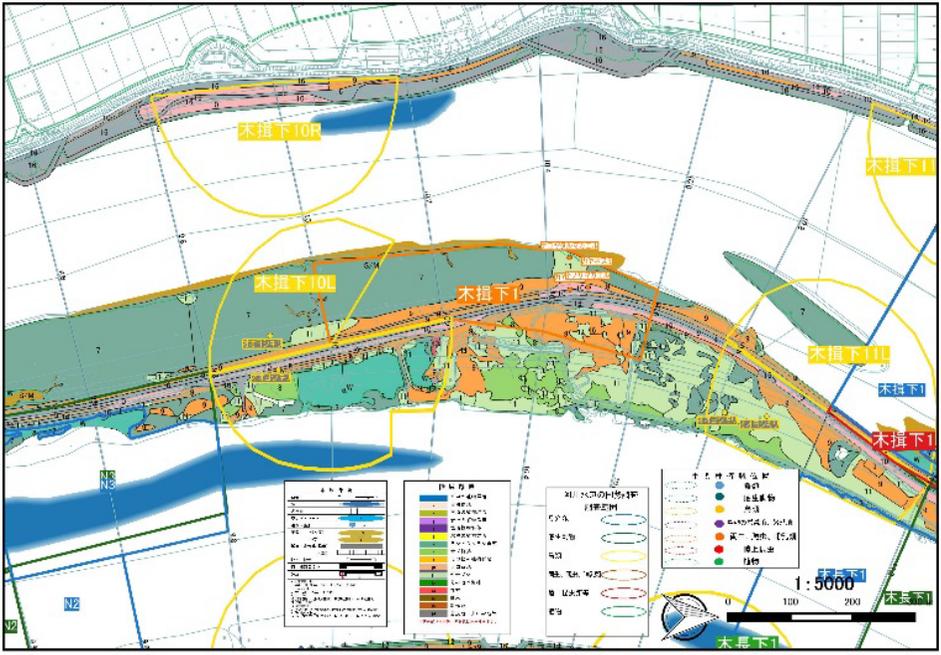
## STEP2: 整備予定箇所の選定

### ◆優先順位によるチェック

項目	該当する条件	チェック結果	
連続性	自然再生により、良好な水際環境の連続性が確保できる箇所	○	上下流に良好なヨシ原が分布しており、連続性が確保できる
地域性	地元要望のある箇所、地域との連携が実施しやすい箇所	○	地元要望がある
希少性	重要な種の生息生育が確認されている箇所	×	重要な種の生息・生育は記録されていない



河川環境情報図(区間図) 揖斐川10 (9.6~11.0km)



優先順位を決定する項目のうち、緊急性、連続性、地域性に該当する区間である。



10.6k~11.0k付近を整備予定箇所として選定。